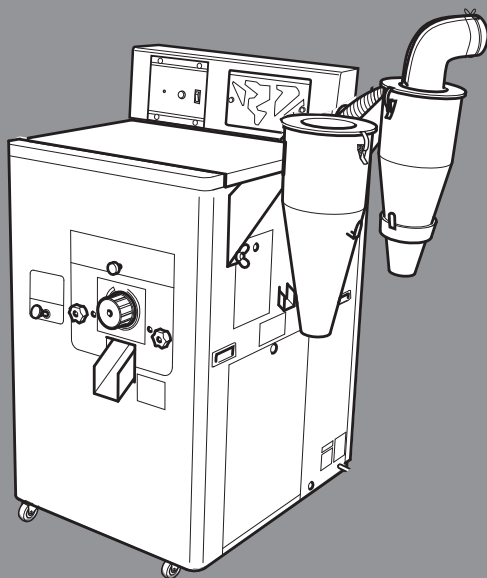


# マル回マス

## 粳すり精米機

### MR1902E

#### 取扱説明書



このたびは、お買い上げいただき  
誠にありがとうございます。



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず  
この「取扱説明書」をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。  
お読みになった後も必ず製品の近くに保存してください。

#### もくじ

---



安全上のご注意.....	2
使用上のお願い.....	4
安全マークの貼付け位置.....	5
各部の名称と働き.....	6
運転前の準備.....	7
使用手順.....	10
不調診断.....	15
分解と組立て.....	20
仕様.....	26
アフターサービスについて.....	27

---

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

●品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容およびイラストの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。

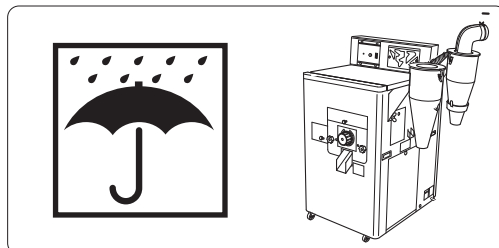
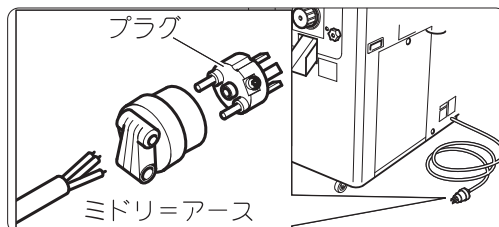
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 <b>注意</b>	その注意文に従わなかった場合、ケガを負う危険性があるものを示します。

## 設置・運転前に関する

### 警告

- アースは確実に付けてください。  
湿気のある場所等で使用するときには、付けないと感電するおそれがあります。
- 水につけたり、水をかけたりしないで下さい。  
火災・漏電・感電の原因となります。
- 改造はしないでください。また、修理技術者以外の方は分解したり修理しないでください。  
火災・感電・ケガの原因となります。



### 注意

- 不安定な場所で使用せず、水平になるように使用してください。  
ケガの原因となります。
- 水のかかる場所や湿気が多い場所、火気の近くで使用しないでください。  
感電・漏電の原因となります。

### お願い

- 本機にはブレーカーが付属されております。  
他の器具容量と併せ、契約電力のご確認をお願いします。

## 作業中に関する

### ⚠ 注意

- ホッパー内に、手や指を入れないでください。

ケガをするおそれがあります。

- 精米内部、抵抗内部には、手や指を入れないでください。

ケガをするおそれがあります。

- 点検整備をする時は、必ず差し込みプラグを抜いてください。

ケガをするおそれがあります。

- カバー類は、常に装着してください。

外したままで運転をすると、ケガをするおそれがあります。

- 指定された電源以外では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

- 本体を踏み台にしたり、重いものを載せたりしないでください。

本体が変形したり、転倒してケガをするおそれがあります。

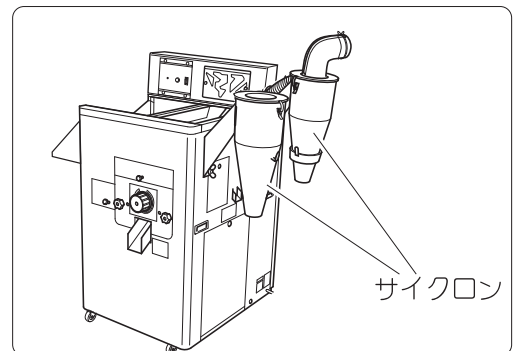
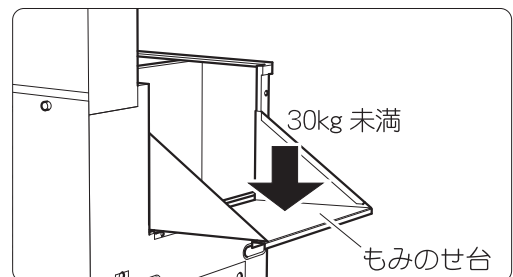
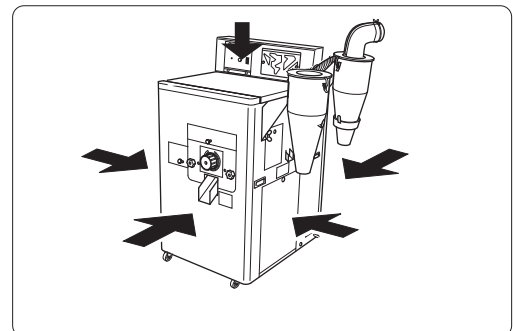
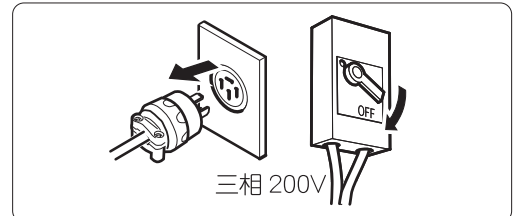
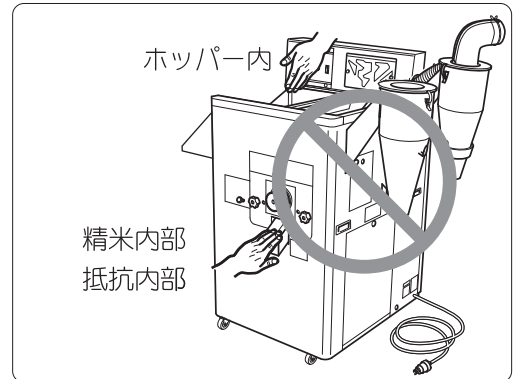
- もみのせ台には、乗らないでください。

ケガをするおそれがあります。

- 30kg以上、ものを載せないでください。

- 本体を使う時は、常に集塵装置（サイクロン）を装着してください。

周囲を汚したり、健康を害するおそれがあります。



# 使用上のお願い (必ずお読みください)

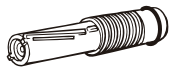


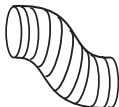
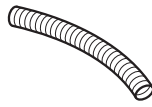

## 作業中に関する





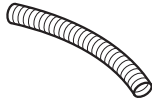

### お願い

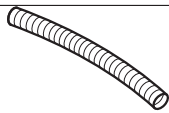
- 米ぬかを放置しないでください。  
精米後、ぬか袋内の米ぬかは、毎回取り除いてください。性能が維持できなくなる他、故障の原因になります。また、米ぬかを長く放置しますと、カビや虫が発生することがあります。
- 本機を、お米の精米以外に使用しないでください。
- 水気をおびたお米は、精米しないでください。
- 米ぬかは、ホッパー内に戻さないでください。
- 定期的に、精米部をお掃除してください。

## 消耗部品

- 表中の数値を目やすに、部品の交換をお願いいたします。
- 交換部品は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- 交換作業は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- 部品名は本書の表示名で、正式部品名と異なる場合があります。

部品名	ロール転子 (MR 19) 仕組	搗精金網 (M)	シュウコウカバー仕組	吸引ホース	ぬか排出ホース	ぬか・もみから袋
部品番号	7G3160-34040	1G3137-31170	7G3161-31180	1G3137-31340	1G3161-81020	1G3130-81133
精米部						
交換の目安 (玄米)	30,000kg (約500俵)	12,000kg (約200俵)		50X190ホース	50X590ホースEF	ヌカブクロ
※ 1 俵 = 60kg (30kg × 2 袋) です。交換目安換算の際にお役立てください。						

部品名	脱ぶファン	ライニング	ライニングセンサー	もみからファンケース仕組	もみから排出ホース	もみから吸引ホース
部品番号	1G3136-85162	1G3139-85040	1G3136-85130	7G3160-43080	1G3161-81030	1G3136-43061
もみすり部						
交換の目安 (もみ)	3,600kg (約 60 俵)	3,600kg (約 60 俵)	3,600kg (約 60 俵)	9,000kg (約 150 俵)	50X540ホースEF	65X450ホース

部品名	脱ぶファンホース
部品番号	1G3136-85270
もみすり部	
	φ38X645ホース

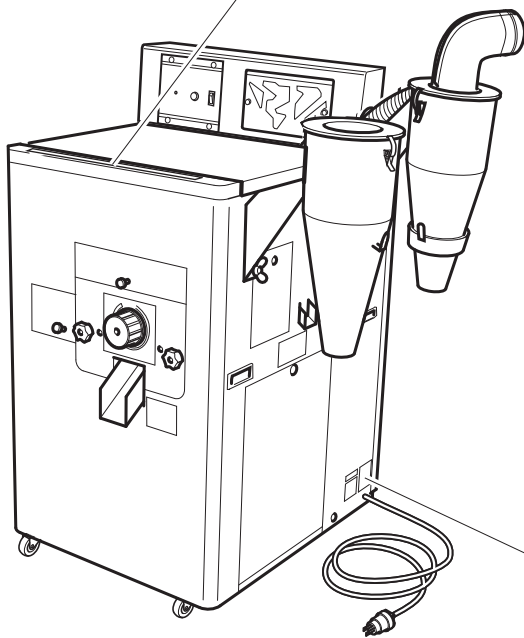
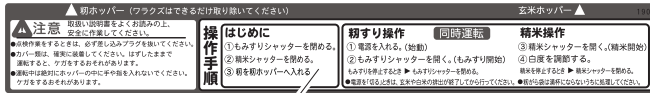
補強付ファンケース仕組

# 安全マークの貼付け位置

※安全に作業していただくために、安全マークの貼付け位置を示したものです。

※安全マークは常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

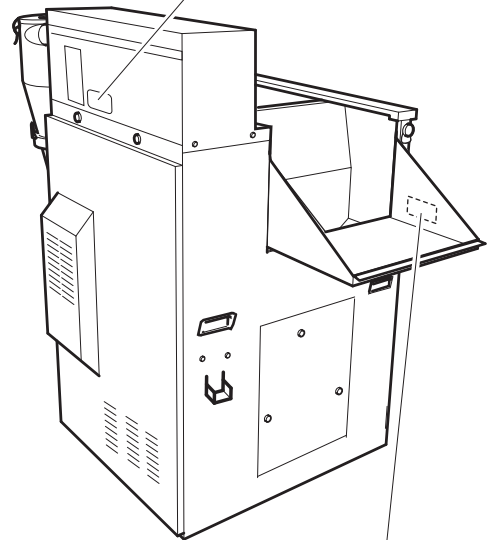
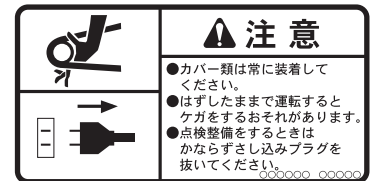
③



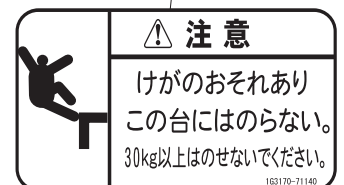
②



①

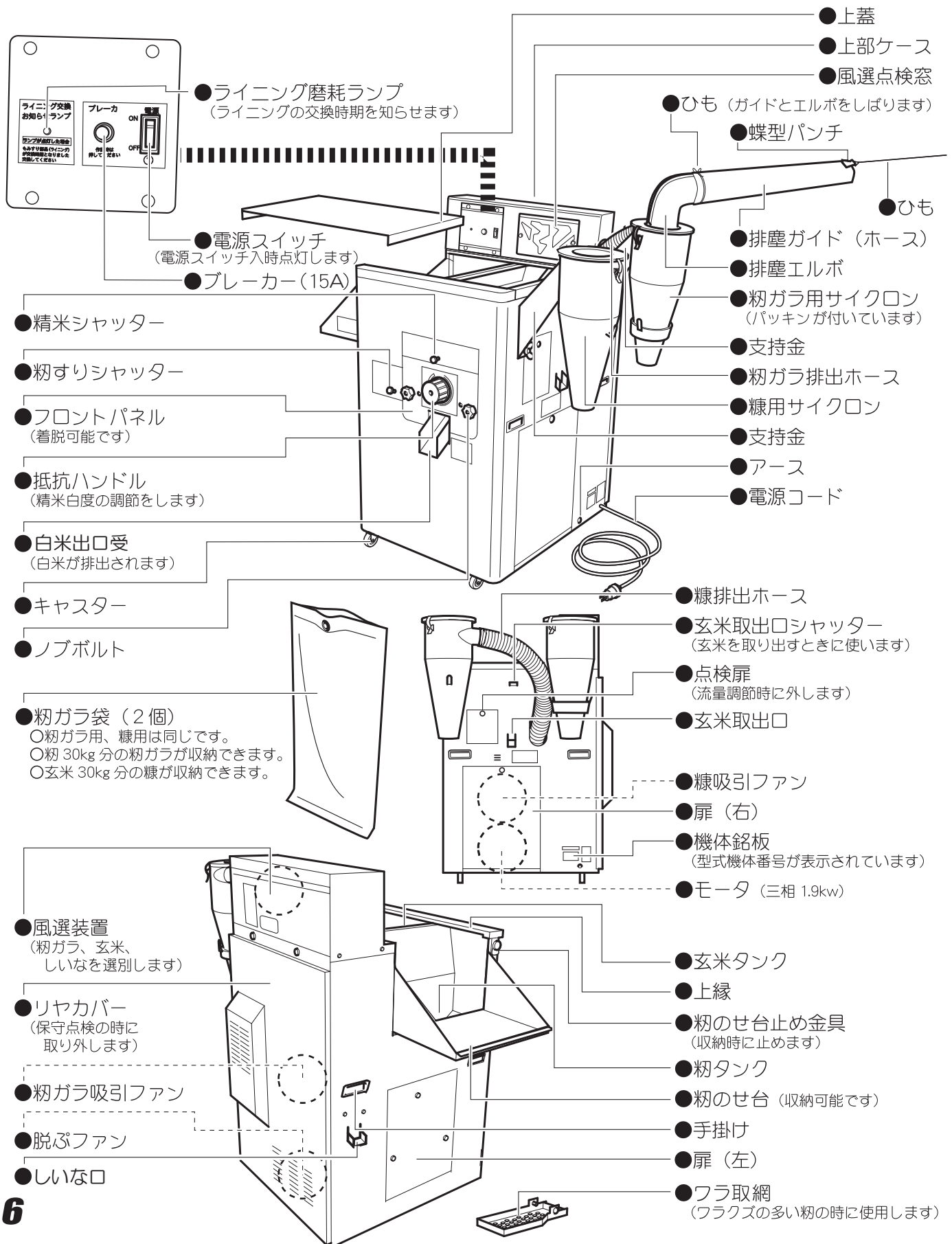


④



No.	部品番号	部品名称	個数
①	1G3351 - 72120	注意マークP-1	1
②	1G3351 - 72130	警告マークP-1	1
③	1G3161 - 72010	操作手順マーク(MR1901)	1
④	1G3170 - 71140	注意マーク米のせ台	1

# 各部の名称と働き



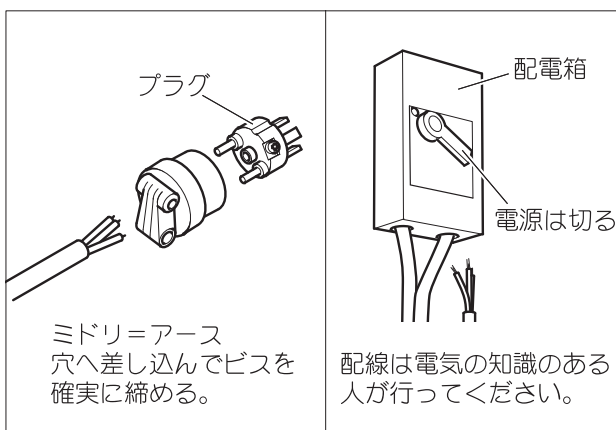
# 運転前の準備

## 電源の準備

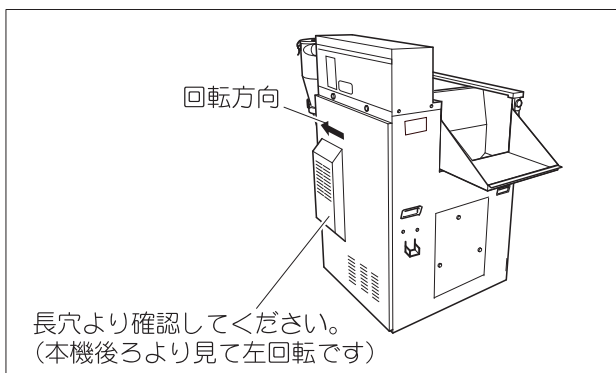
- 15 アンペアのブレーカが付属されています。
- この精米機は電気装置を内蔵しておりますから、できるだけ乾燥した場所で使用、または格納してください。また、ネズミが入りますと電機部品をこわすことがありますので、十分注意してください。
- 本機は電圧が低下しますと、運転不能になる場合があります。

## 配線

- 1) 電源コードにプラグ（付属品）を取り付けるか、配電箱へ直接配線してください。



- ミドリ色の線はアース線ですので、プラグのアース端子（≡マーク）へ配線してください。
  - プラグの配線は、ビス横の穴へ配線を差し込んでビスを締めると固定されます。
- 2) 回転方向を確認してください。



- 回転方向を逆にするには、電源プラグまたは、配線箱の結線部のアカ、シロ、クロ、のいずれか2本の線を入れ換えてください。

- 配線時は、必ず電源を切って作業をしてください。
- 逆回転のまま、運転を行わないでください。故障の原因となります。

## サイクロンの装置

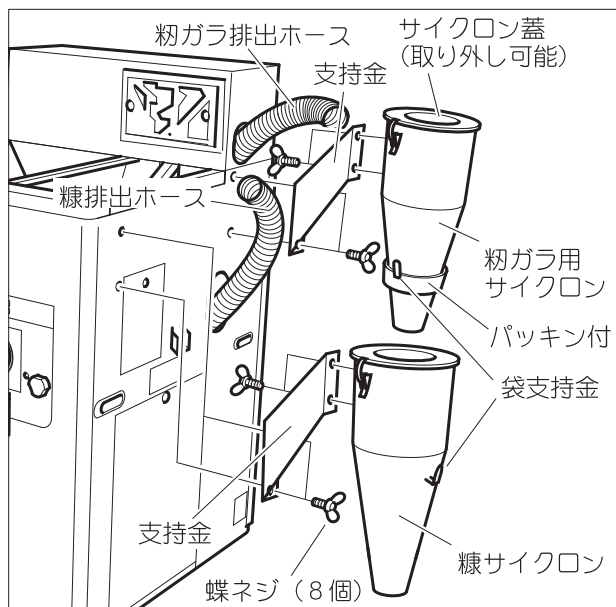
### 1. 糠排出ホースを取り付ける

扉（右）を外して、付属の糠排出ホースを取り付けてください。



## 2. サイクロンを機体に取り付ける

支持金により、サイクロンを機体に取り付け、ホースを差し込んでください。

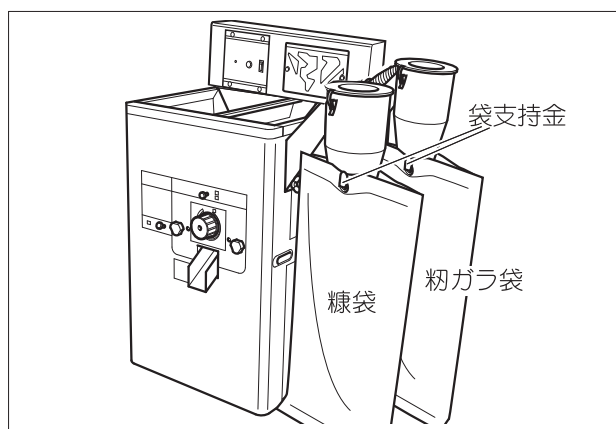


### 取扱いの注意

- (1) 粉ガラ用サイクロン…袋支持金部にパッキンが巻いてあります。
- (2) 糠用サイクロン…袋支持金部にパッキンはありません。

## 3. 粉ガラ袋（糠袋）を取り付ける

サイクロン下部へ、付属の粉ガラ袋を取り付けてください。

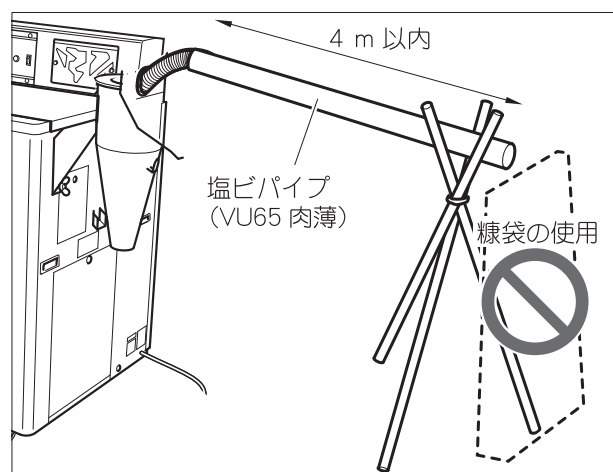


袋は粉ガラ用、糠用とも同じです。

### 取扱いの注意

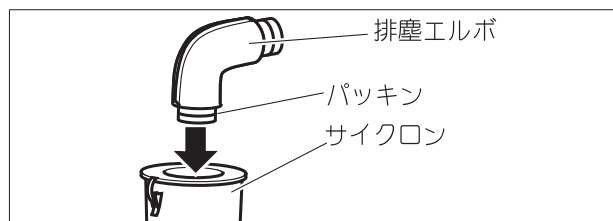
●粉ガラを粉ガラ袋を使用せずに、直接屋外へ排出する場合は、次の点にご注意ください。

- 1) 使用パイプサイズ…VU65 薄肉塩ビパイプ
- 2) 最大長さ…4 m
- 3) 粉ガラ袋は使用しないでください。
- 4) パイプは水平、または先端が下がるように設置してください。

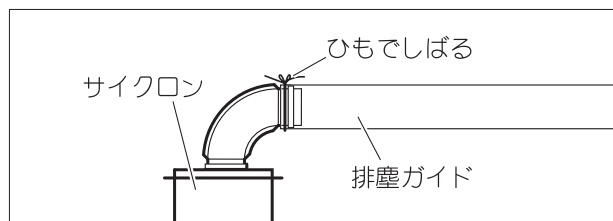


### 排塵ガイドの装着

#### 1. 排塵エルボを差し込む

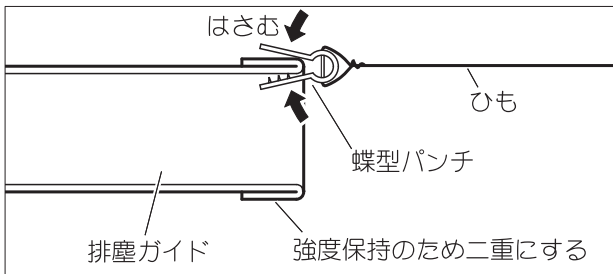


#### 2. 排塵ガイドをセットする





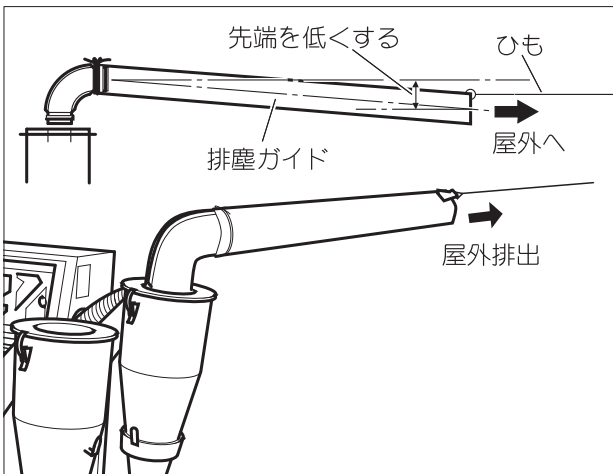
### 3. 蝶型パンチおよびひもを取り付ける



### 4. ひもの先端を固定する

ひもの先端を柱等にセットしてください。

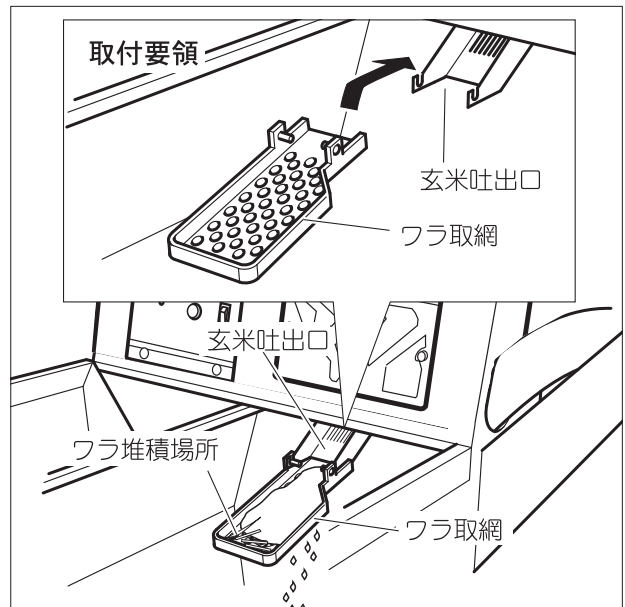
●この時、先端を水平より低くしてください。



### ワラ取網の使用

ワラズ（特に茎部）の多い粉を粉すりするとき、ご使用ください。

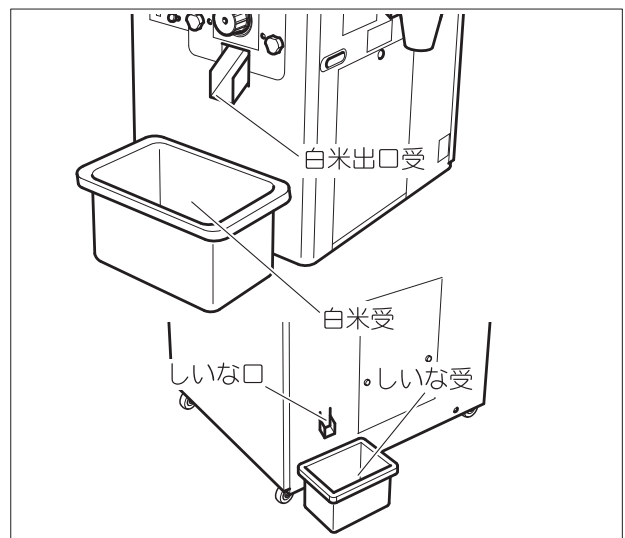
●ワラ取網に蓄積したワラズは、時々取り除いてください。



### 白米受としいな受の準備

白米出口受には、白米受を用意してください。

しいな口には、しいな受を用意してください。



●白米受、およびしいな受は付属品ではありません。

# 使用手順

## 初期精米について

購入後、初めての精米や、精米部の取り外し・取り付け後の精米のときは、精米開始直後は玄米が混じります。やがて白度が安定し、白米が出てきます。

## 1. 電源を入れる

### 1. 電源を入れる

プラグを 200V 3 相電源に差し込み、配電箱の電源を入れてください。

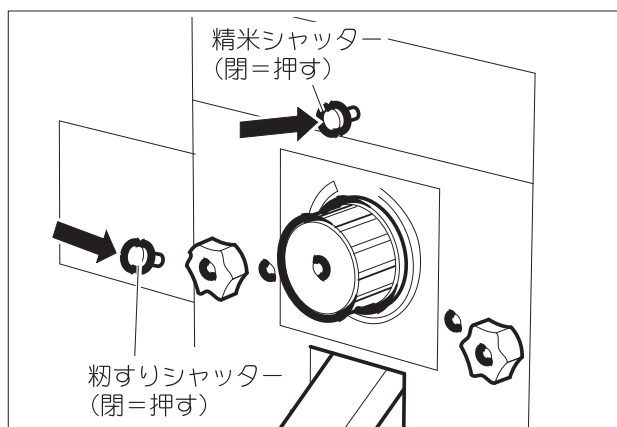
## 2. シャッターを閉める (押す)

●回転方向を確認してください。

7 ページ「配線」を参照してください。

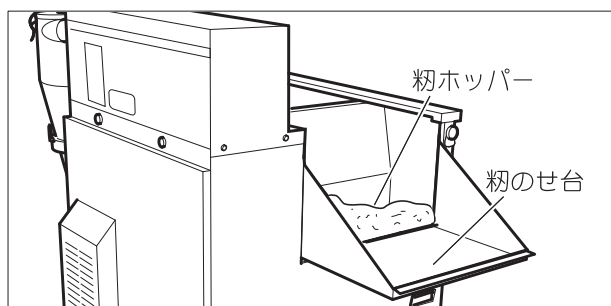
### 2. シャッターを閉める (押す)

精すりシャッターと精米シャッターを閉めてください。



### 3. 粉を張り込む

粉を粉ホッパーに張り込んでください。

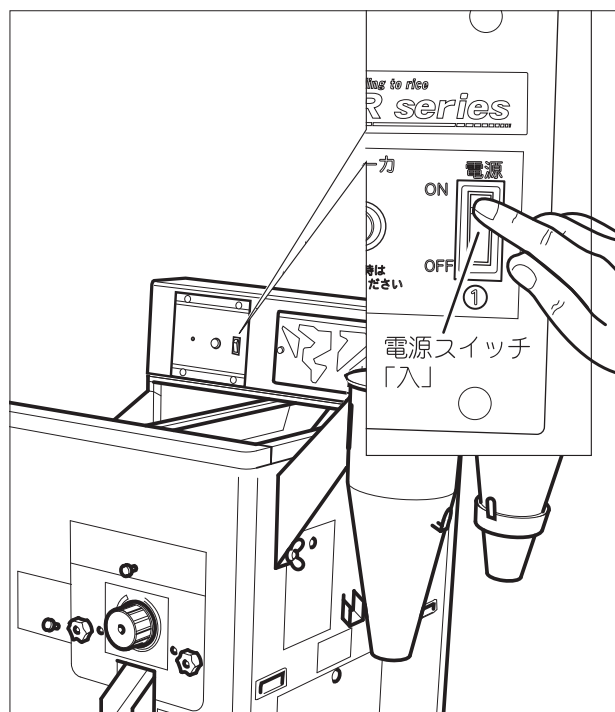


## 3. 粉を張り込む

●このとき、ワラズはできるだけ取り除いて張り込んでください。

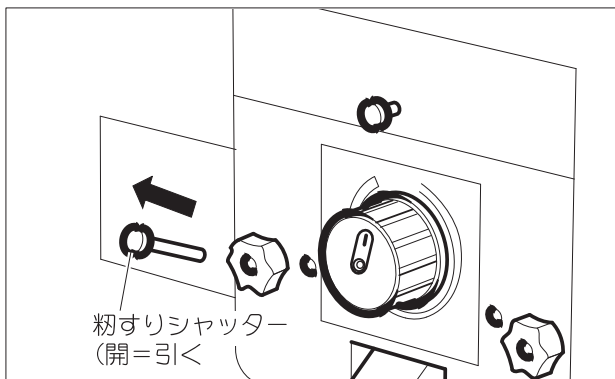
### 4. 電源スイッチを「入」にする

電源ランプが点灯し、始動します。



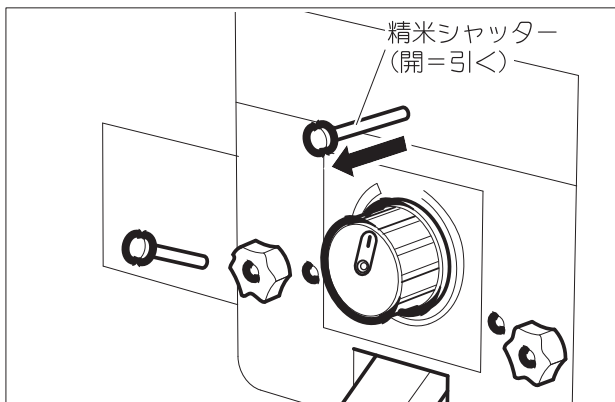
## 5. 粳すりシャッターを開ける (引く)

粳すり脱ぷファンの回転が上がり一定になったら、粳すりシャッターを開けて (引く) ください。粳すりが始まります。



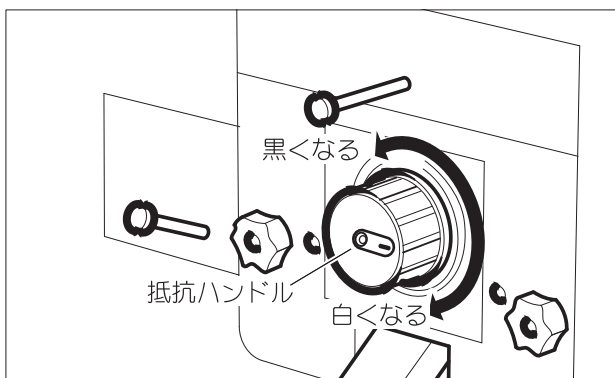
## 6. 精米シャッターを開ける (引く)

精米シャッターを開けて (引く) ください。精米が始まります。



## 7. 白度を決める

出口の抵抗装置に負担がかかり、白米が排出し始めますので、白度を見ながら抵抗ハンドルを静かに調節して白度を決定してください。

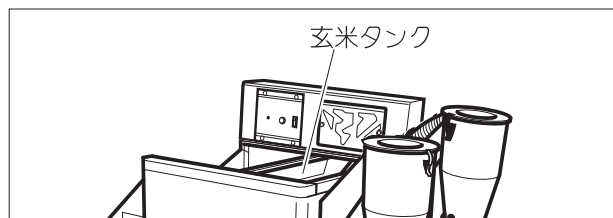


## 取扱いの注意

- 抵抗ハンドルは「0」より、ゆっくり加えてください。急激な調節は機械不調の原因となります。
- 抵抗ハンドルを動かしてから、すぐには白度は変わりません。やや遅れて白さが変化しますので、間をおきながら白度調節をしてください。

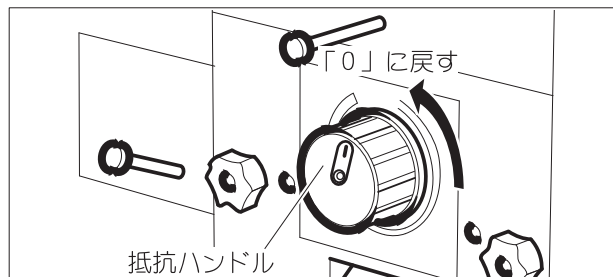
## 8. ムラつき米を玄米タンクに戻す

白度が決まるまでのお米は、玄米が混ざったりしますので、玄米タンクに戻してください。



## 9. 精米作業の最後に白米を戻す

精米作業の最後には、タンク内の玄米がなくなる寸前に仕上がった白米、約1リットル (5合) をタンク内に返して仕上げつきを行います。白米が全部排出されたら抵抗装置を「0」に戻すと、機内に残っている白米が排出され精米が完了します。



## 取扱いの注意

- 白米を追加しないと、最後に玄米が排出されます。
- 再始動時に、ムラつき米が排出される場合がありますので、別容器に受け、玄米タンクに戻してください。

## 10. 粉ガラ・糠の処理をする

- 粉ガラ袋および糠袋に入る、粉ガラ・糠は、粉および玄米とも 30kg 分の量だけですので、満杯にしないように必ず処理をしてください。

### 取扱いの注意

- ▶もし忘れると…

粉ガラおよび、糠の排出ができなくなり、故障の原因となります。

### 粉すりだけを行う場合

#### 1. 精米部の残米を排出する

電源スイッチを「入」にして空運転をし、抵抗ハンドルを「0」にして、精米部の残米を排出してください。11ページ 9 を参照。

### 取扱いの注意

- 残米のある状態で粉すりを行いますと、残米が碎米になります。

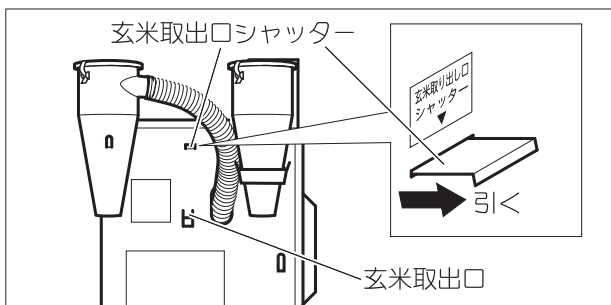
- ▶粉すり部のみでの運転はできません。

#### 2. 粉すりをする

前項「粉すり、精米の同時運転」1～5の順序で作業を行ってください。

#### 3. 玄米を取り出す

玄米取出口シャッターを引き、玄米を取り出してください。



### 取扱いの注意

- 連続して多量の粉すりを行いたい時は、適宜玄米の取り出しと、粉ガラの処理を行ってください。

- ▶もし忘れると…

粉ガラの排出ができなくなり、故障の原因となります。

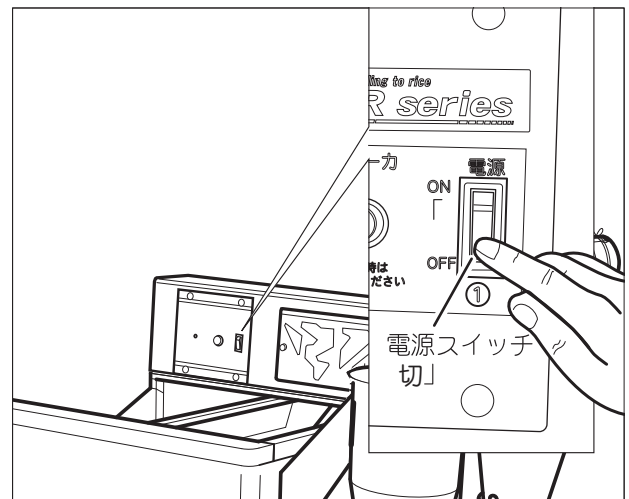
### 粉すり途中で停止する場合

#### 1. 粉すりシャッターを閉める (押す)

#### 2. 玄米の排出を確認する

玄米ホッパーに玄米が排出されなくなるのを確認してください。(約5秒後)

#### 3. 電源スイッチを「切」にする



### 取扱いの注意

- 粉すりシャッターを開けたまま、電源スイッチを「切」にしないでください。粉の詰まる原因となります。

## 精米だけを行う場合

1. 精米シャッターを閉める (押す)

2. 玄米を張り込む

玄米を玄米ホッパーに張り込んでください。  
約 10kg 入ります。

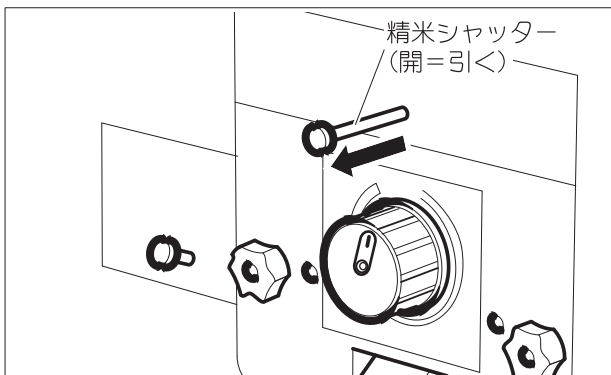
3. 電源スイッチを「入」にする

## 取扱いの注意

- この時、粳すり部も同時に始動します。
- ▶精米部のみの運転はできません。

4. 精米シャッターを開ける

精米シャッターを開けて (引く) ください。  
精米が始まります。



あとの作業は、前項「粳すり、精米同時運  
転」の 7～9 の順序で作業を行ってください。

## 精米途中で停止する場合

1. 精米シャッターを閉める

2. 白米が排出されなくなるまで待つ

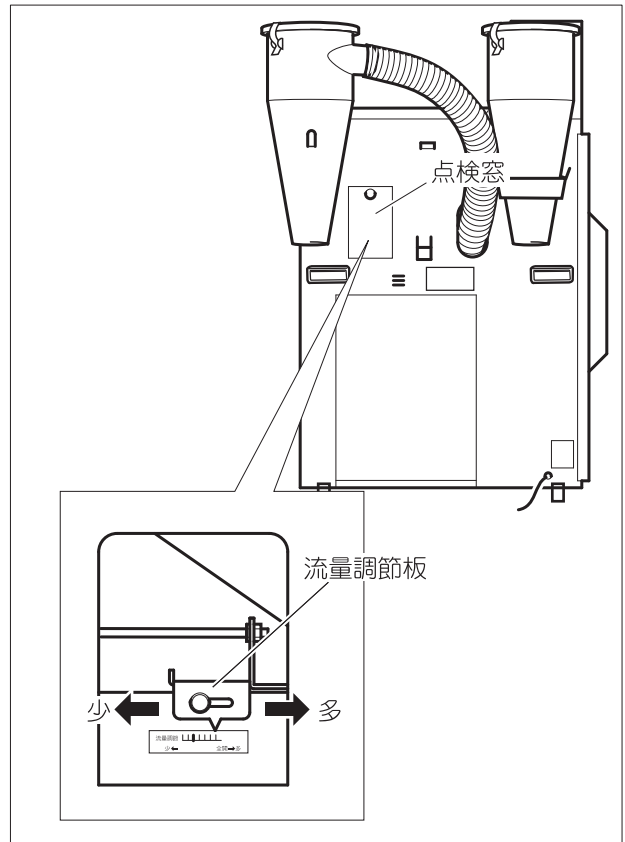
3. 電源スイッチを「切」にする

停止します。

## 玄米の流量調節装置の使用法

使用中に、玄米タンクに玄米がたまっていく時、お米がよく詰まる時は、流量調節を少しずつ調節してください。

1. 点検扉を外す



表を参考にして、少しずつ調節してください。

現象	流量調節方向
玄米タンクに玄米がたまっていく場合 (精米時間が長くなった場合)	「多」方法
お米がよく詰まる場合 (ブレーカがよく切れる)	「少」方法
白度を上げたい場合	「少」方法

## 屑米、もち米、高・低水分米の精米要領

### 1. 屑米の精米

屑米を精白する場合には、抵抗を弱めにして二回つきを行うと碎米の発生も少なく、きれいな白米に仕上がります。

### 2. もち米の精米

精米部金網内部の残米を取り除いてから、もち米の精米を行ってください。

分解組立は23ページ「分解と組立て」を参照してください。

もち米は糠の層も厚く、お米に粘りがありますので、馬力も15～20%多く必要とします。したがって、1回目で8ぶつき位に仕上げ、2回目に完全白に仕上げると、白度の良いきれいなもち米ができて上がります。

### 3. 高・低水分米の精米

標準米（政府検査米の含水率は14～15%）以上に水分の高い高水分米、それ以下の水分の低い低水分米の精米は、いずれも馬力をやや多く必要とします。玄米の流量調節を「少」方向で運転してください。

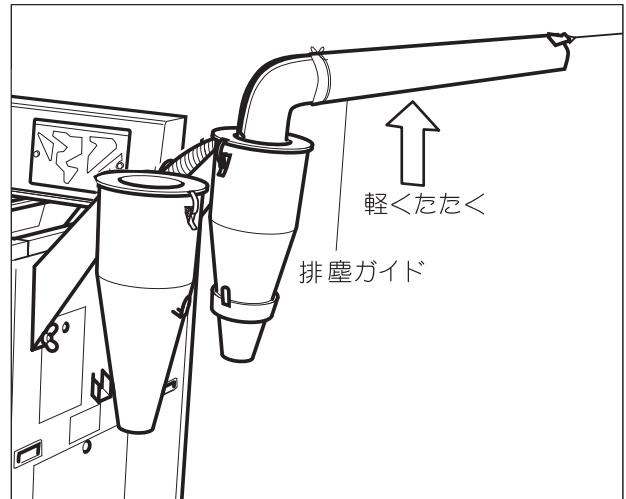
## 取扱いの注意

- 高・低水分米とも、標準米との水分差が大きいときは、2回つきを行ってください。

## 手入れ、格納

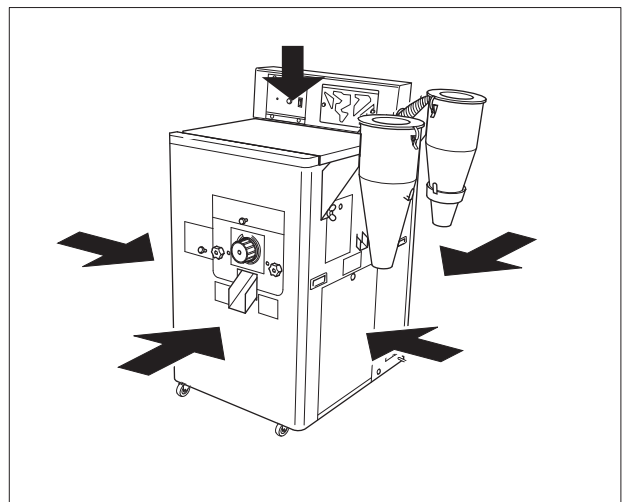
### 1. 排塵ガイド内の掃除

粉すり部を空運転し、排塵ガイドの下側を軽くたたくと、排塵ガイド内のホコリが除去されます。



### 2. 各扉類の取り付け

終了後は、各扉および上蓋を取り付けて、湿気のないところへ格納してください。



## 取扱いの注意

- ▶もし忘れると…  
ネズミが入り、内部の電機部品を破損することがあります。

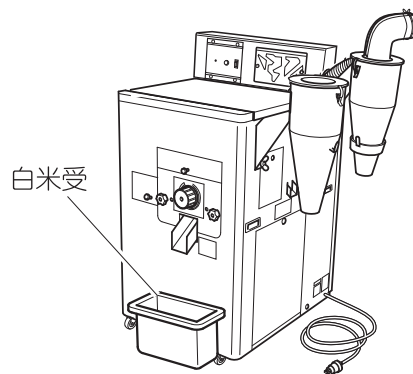
# 不調診断 [ もみすり部 ]



●点検整備をするときは、必ず差込みプラグを抜いてください。  
差込みプラグを差したまま行くと、ケガをするおそれがあります。

## 作業時のおすすめ

精米部の取り外しの際、ぬかやお米が本体内外に、こぼれますので、白米受をご用意いただくと、作業後のお掃除も簡単です。



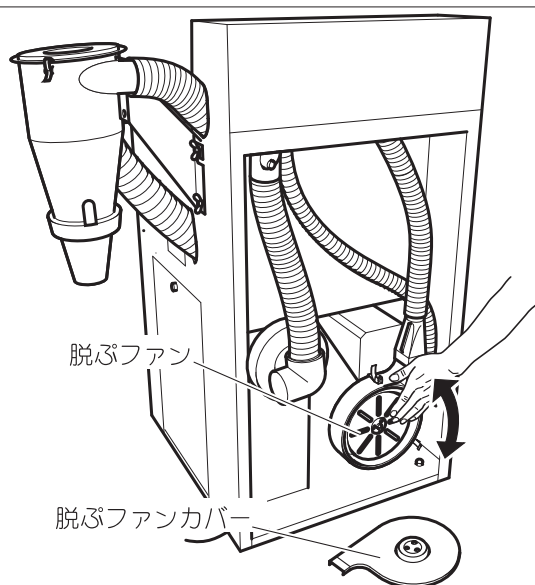
## ダンプファンへ粉の供給が途切れる

### 1. 粉の中のワラを取り除く

長さ 5 cm 以上のワラクズは、取り除いてからホッパーに張り込んでください。

## 脱ぶファンへの詰まり

### 1. ファン内の糠を取り除く



- 1) 安全のため電源プラグを外してください。
- 2) 脱ぶファンカバーを取り外してください。
- 3) 手で脱ぶファンを左、右交互に回転させながら、たまっている粉を完全に取り除いてください。

## 取扱いの注意

●取り除いた粉、玄米および粉ガラは粉ホッパーへ返し、再処理してください。

### 2. 停止時に粉シャッターを閉めなかった

12 ページ「粉すり途中で停止する場合」を参照してください。

### 3. シャッターを開けたまま粉を張り込んだ

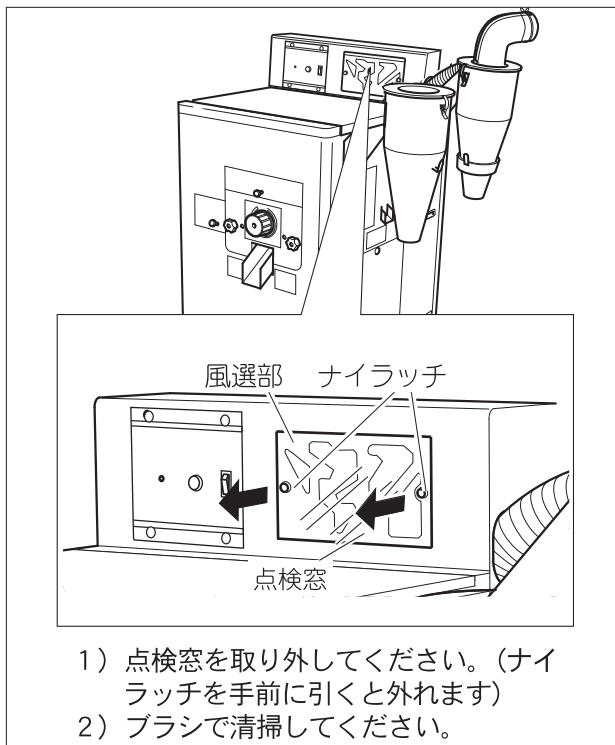
粉を張り込むときは、必ず粉すりシャッターを閉めてください。

### 4. 粉の水分が高い

風選部の粉ガラの流れの悪いときは、粉すりシャッターを半分ほど引いてください。全開で使用すると脱ぶファンが詰まる場合があります。

## 玄米に粃ガラが混入する

### 1. 風選部にワラ屑が引掛かっている

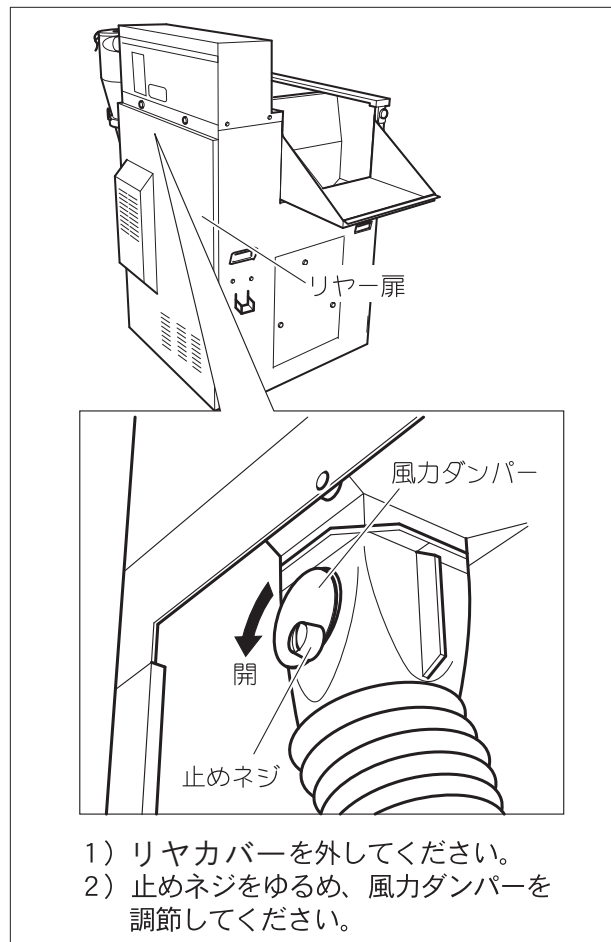


### 2. 電源スイッチを早く切りすぎた

12ページ「粃すり途中で停止する場合」を参照してください。

## 粃ガラ中に整粒が多い

### 1. 風力ダンパーを開ける



## 取扱いの注意

- 風力ダンパーを開けすぎると、玄米中に粃ガラが混入する場合があります。

### 2. 風選部にワラ屑が引掛かっている

前項 1 を参照し、ワラ屑を取り除いてください。

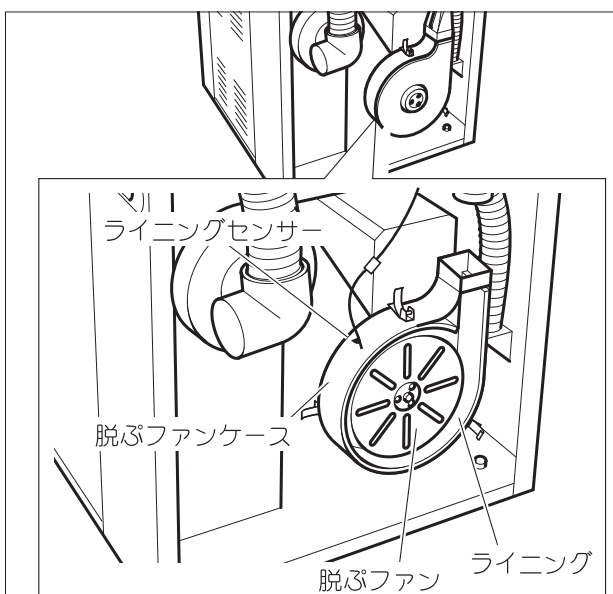


## ライニング摩耗ランプの点灯時

### 1. ライニングおよび脱ぶファンを交換する

ライニング摩耗ランプが点灯したら、作業を中止して、ライニング、ライニングセンサー、および脱ぶファンを新品と交換してください。(ライニング、ライニングセンサー、および脱ぶファンは消耗品です。)

消耗部品は4ページを参照ください。



(20ページ1～5参照)

脱ぶファンカバーを取り外し、ライニング、ライニングセンサー、および脱ぶファンを交換してください。

そのまま作業を続けると…

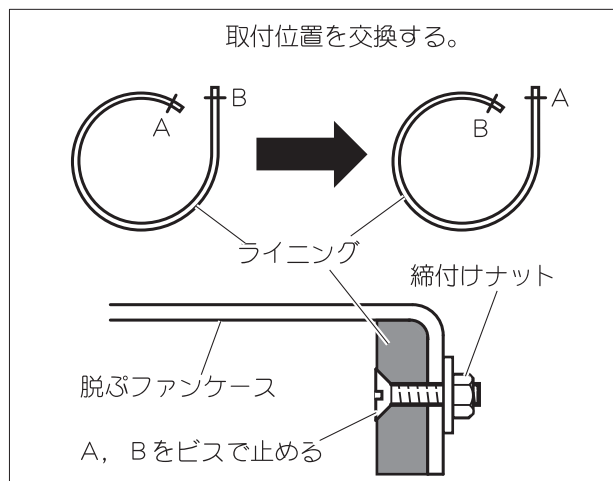
- (1) 脱ぶファンケースが損傷します。
- (2) 脱ぶ率が悪くなり、碎米の発生が多くなります。

### 取扱いの注意

- ライニング、ライニングセンサー、および脱ぶファンは組で交換してください。

## 2. ライニングの向きを変える

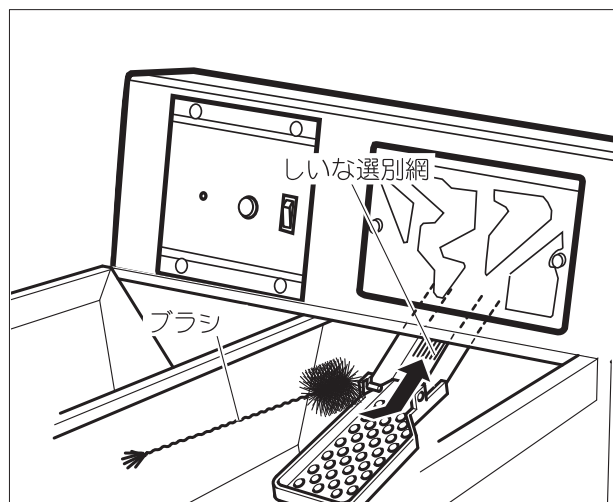
粗すり量 1500～2000kg の時点で、ライニングと向きを変えますと、ライニングの寿命が約2倍になります。



## しいなのぬげが悪い

### 1. しいな選別網を掃除する

しいな選別網を、ブラシで清掃してください。



### 取扱いの注意

- しいな選別網の清掃は、作業停止時に行ってください。

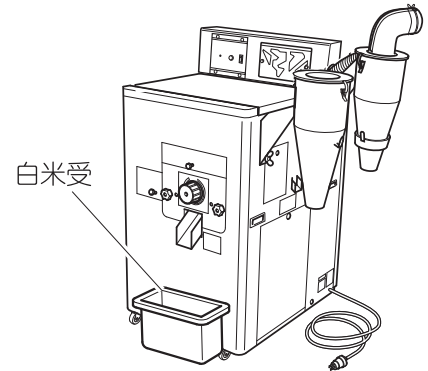
# 不調診断 [ 精米部 ]



●点検整備をするときは、必ず差込みプラグを抜いてください。  
差込みプラグを差したまま行くと、ケガをするおそれがあります。

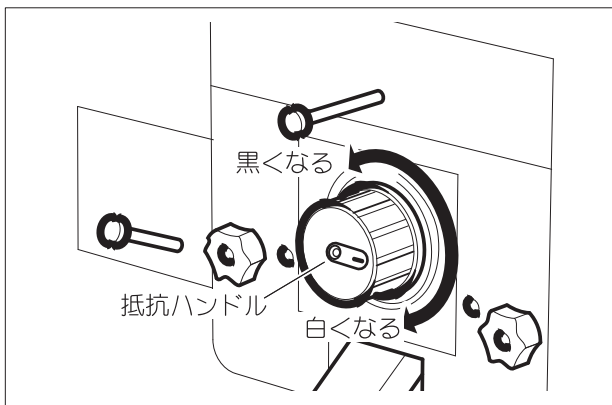
## 作業時のおすすめ

精米部の取り外しの際、ぬかやお米が本体内外に、こぼれますので、白米受をご用意いただくと、作業後のお掃除も簡単です。



## 機械内部への詰まり

### 1. 抵抗が強すぎる (白度の上げすぎ)



### 2. 抵抗を急激に加えた

白度調節をゆっくり行ってください。

### 3. 玄米が高水分

玄米水分が 17% を超えると、精米が困難になりますので、

- (1) 玄米を日陰干しにする。
- (2) 2 回つきを行う。

のいずれかの方法で作業を行ってください。

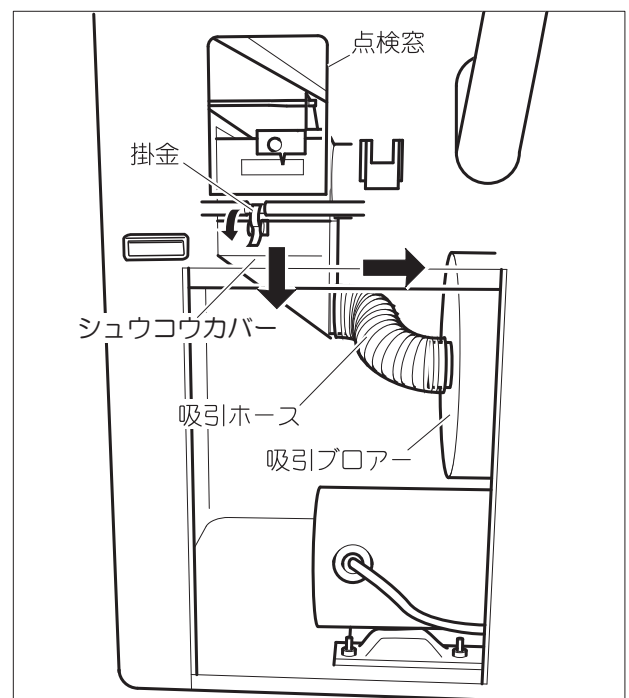
## 取扱いの注意

- 一度機械内部を詰まらせると、そのままでは再運転が困難になります。23 ページの要領で精白室内のお米を完全に排出してから、再運転を行ってください。(23 ページ参照)

## 糠切れが悪い

### 1. ホースなどへの糠づまり

各ホース、ブローア、および集糠箱の清掃を行ってください。

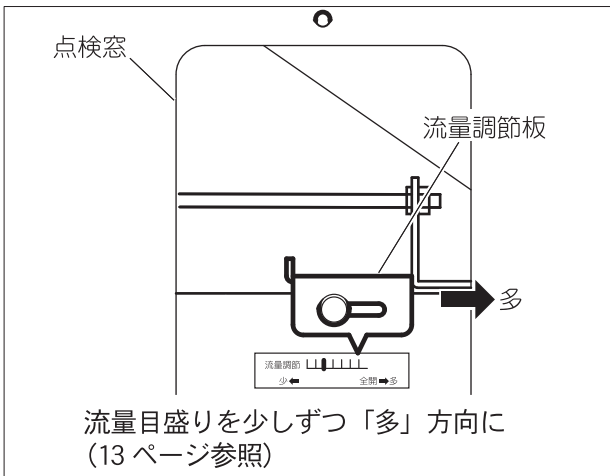


## 能率が上がらない

### 1. 玄米ホッパーに玄米がたまってくる



### 2. 流量を調節する

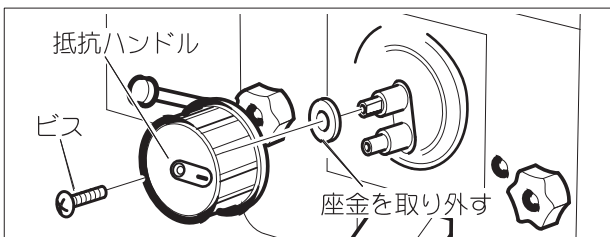


## 白度不足のとき

抵抗ダイヤルを「10」にしても、白度不足の時は、次の作業を行ってください。

### 1. 抵抗ハンドルを外す

### 2. 座金を取って抵抗ハンドルを取り付ける

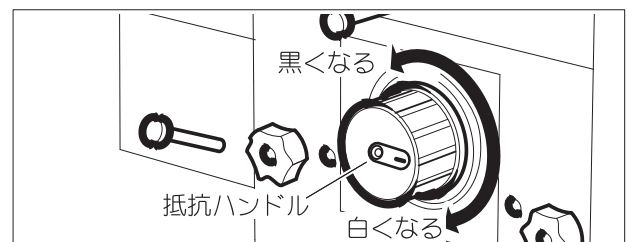


## 取扱いの注意

- 座金を取り外すと、抵抗は「0」から「10」まで全般的に強くなります。あらためて白度を決めてください。(11 ページ参照)

## ブレーカが作動したら

### 1. 抵抗が強すぎる (白度の上げすぎ)



### 2. お米がつまっている

抵抗を急激に加えた。白度調節をゆっくり行ってください。(18 ページ参照)

### 3. 電圧が低下している

7 ページ「運転前の準備」を参照してください。

## 取扱いの注意

- 安全装置 (ブレーカ) が作動すると、自動的に「切」になり、2～3分は通電しません。
- 再運転の時は、ブレーカボタンを押してください。

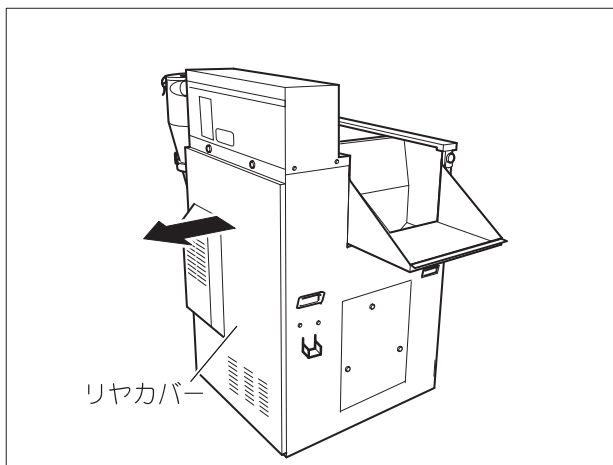
# 分解と組立て [ もみすり部 ]



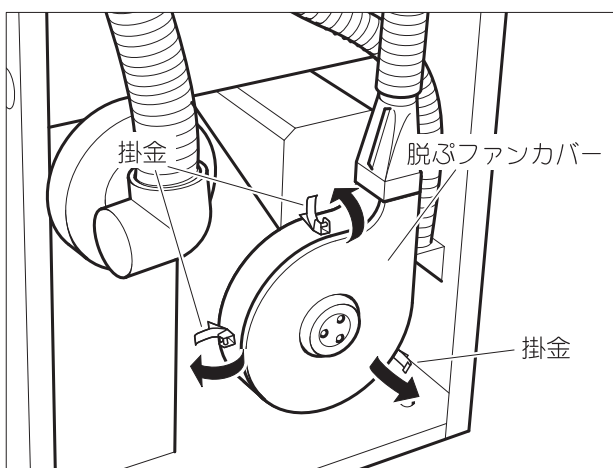
●点検整備をするときは、必ず差込みプラグを抜いてください。  
差込みプラグを差したまま行くと、ケガをするおそれがあります。

## 脱ぶファンおよびライニングの取り外し

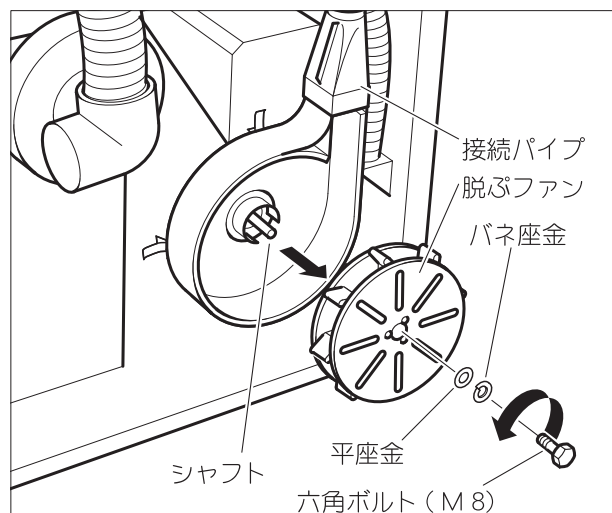
### 1. リヤカバーを外す



### 2. 脱ぶファンカバーを取り外す



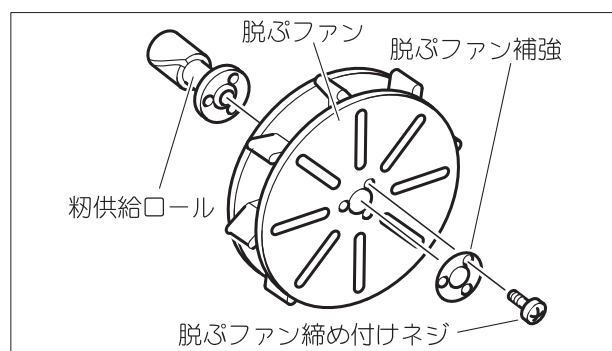
### 3. 脱ぶファンを外す



脱ぶファンを手で押さえ、六角ボルトをゆるめてください。

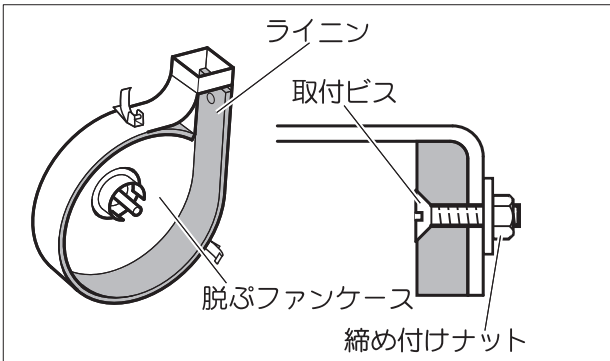
### 4. 粉供給ロールを外す

脱ぶファンから粉供給ロールを外してください。



<脱ぶファンは消耗品です>  
(部品番号は4ページを参照ください。)

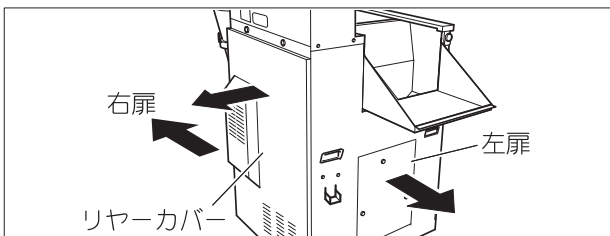
## 5. ライニングを外す



## ベルトの取り外し (交換)

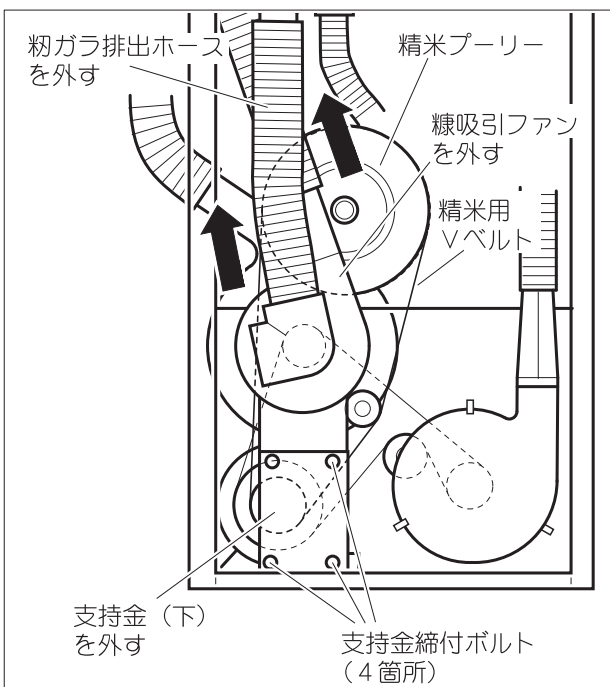
### 1. リヤカバーと扉を外す

リヤカバーと左右の扉を外してください。

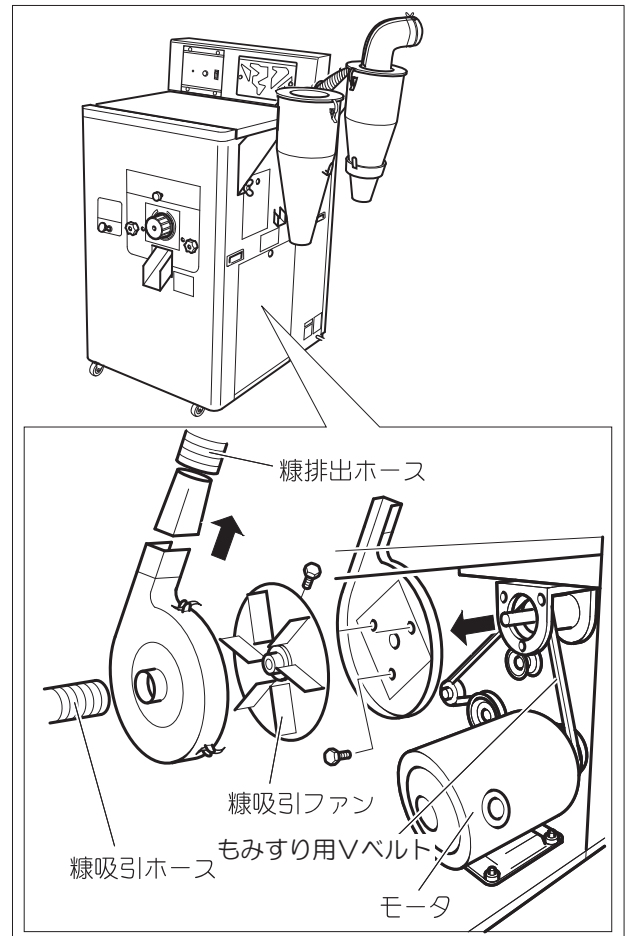


### 2. 支持金 (下) とホースを外す

支持金(下)、粉ガラ吸引ホース、粉ガラ排出ホースを外してください。



## 3. 糠吸引ホースと糠吸引ファンを外す



## 4. Vベルトを外す

電源周波数	精米用	粉すり用
60 Hz	SB52(LB52)	RSA 39 薄型
50 Hz	SB52(LB53)	RSA 40 薄型



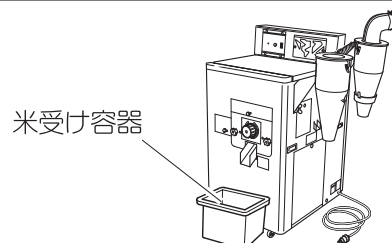
# 分解と組立て [ 精米部 ]



●点検整備をするときは、必ず差込みプラグを抜いてください。  
差込みプラグを差したまま行くと、ケガをするおそれがあります。

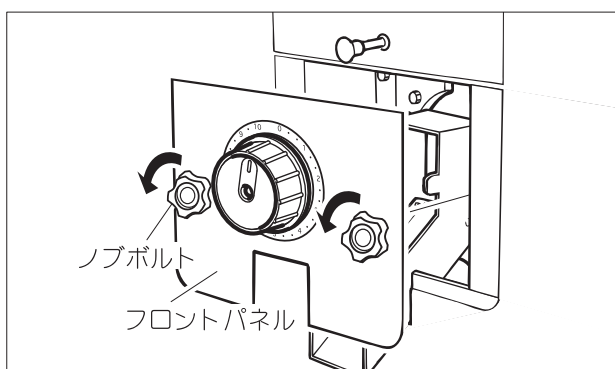
## 作業時のおすすめ

精米部の取り外しの際、ぬかやお米が本体内外に、こぼれますので、米受け容器をご用意いただくと、作業後のお掃除も簡単です。



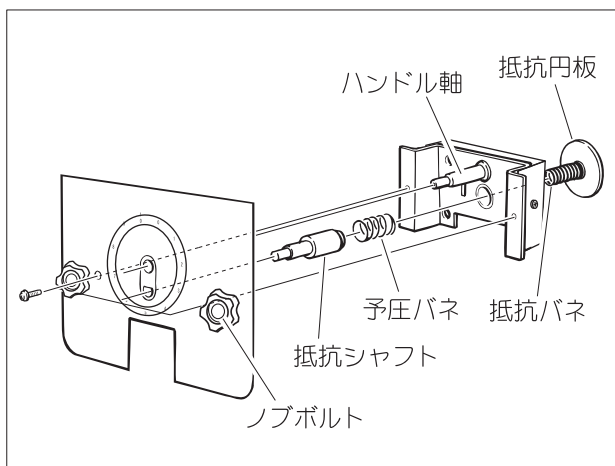
## 抵抗装置の取り外し

### 1. フロントパネルを外す



### 抵抗装置の構造

抵抗装置を分解・組立てするときは、部品の順序を誤らないよう、正しく行ってください。



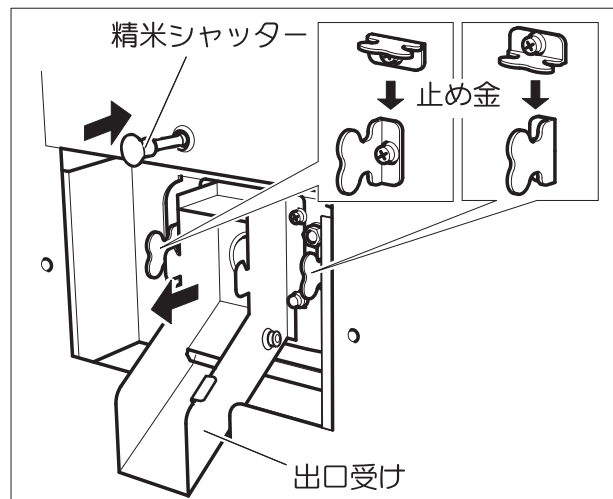
## 出口受け・搗精金網の取り外し

### 1. フロントパネルを外す

前項「抵抗装置の取り外し」を参照してください。

### 2. 出口受け・搗精金網を外す

止め金を回し、出口受け・口金・搗精金網・網押さえとともに手前に引いてください。  
(一体で手前に抜けてきます。)

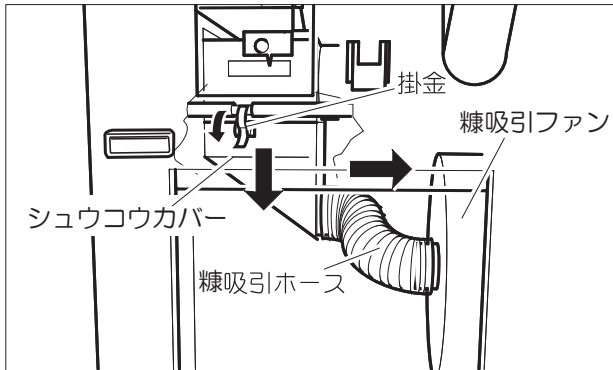


## 取扱いの注意

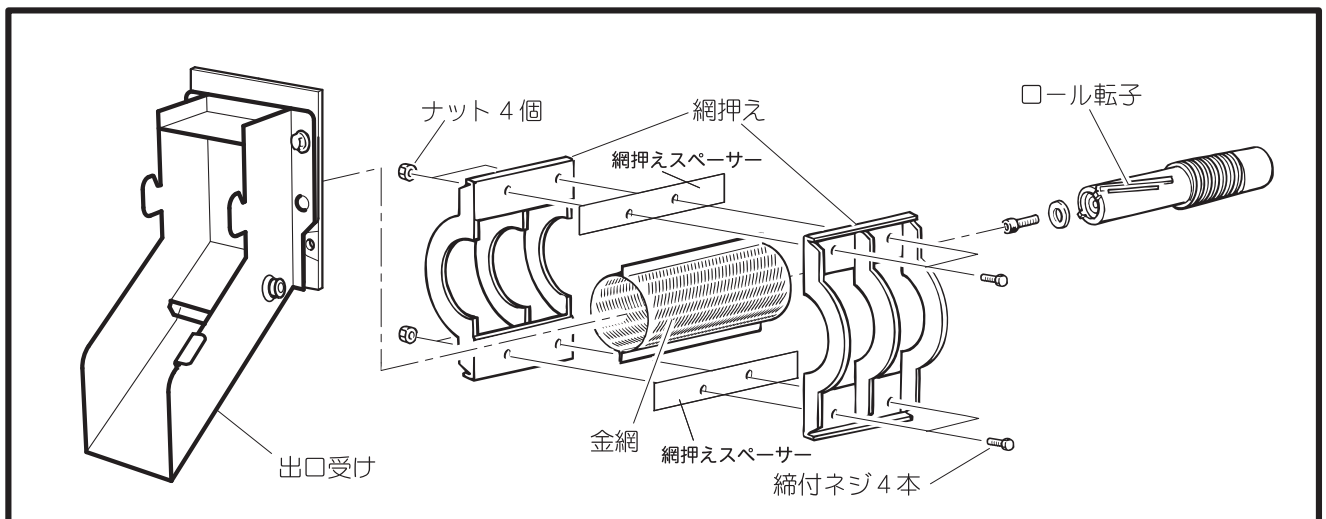
- このとき、搗精金網内の白米はシュウコウカバーに落下します。
- 精米シャッターは必ず閉めて（押し）てください。

## シュウコウカバーの取り外し

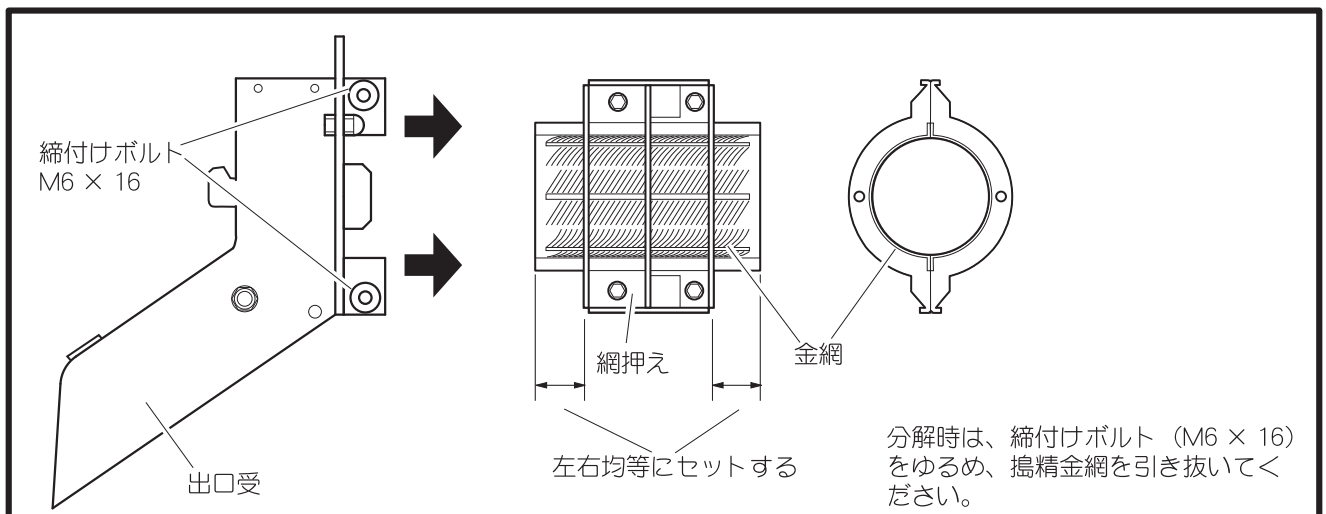
掛金を外し、吸引ホースごとシュウコウカバーを押し下げてください。



## 主要部構造図



### ●金網の分解・組立の要領



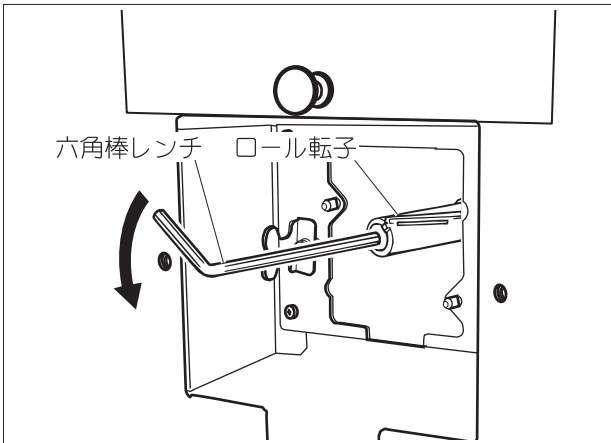


## ロール転子の取り外し

### 1. フロントパネル、出口受けを外す

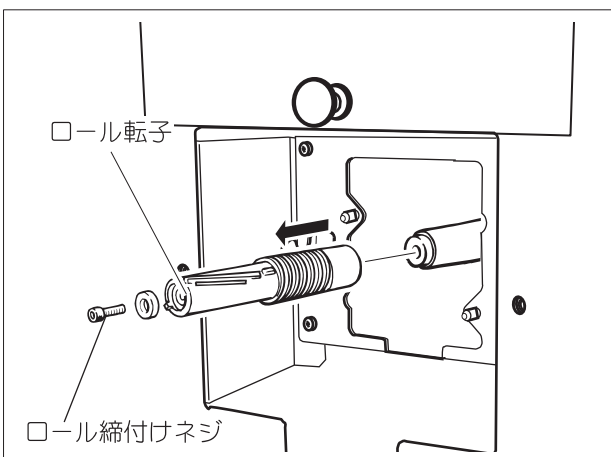
(23 ページ参照)

### 2. ローラ締付けネジを外す



- この時、市販のレンチ(六角棒レンチ 8mm)をご使用ください。
- ゆるみにくい時は、リヤカバーを外してプーリーを押さえて行ってください。

### 3. ローラ転子を引き抜く



## 組立て

組立は分解の逆に、順次行ってください。

## 取扱いの注意

- ローラ転子をシャフトに固定するときは、シャフトのピンとローラ部の切れ込みをかみ合わせて、先端のボルトを締めてください。

# 仕様

	項 目	単 位		
本	全 幅	mm	585 (格納時)	1100 (作業時)
	奥 行	mm	745 (格納時)	745 (作業時)
	全 高	mm	1100 (格納時)	1100 (作業時)
体	質 量 ( 重 量 )	kg	88	
	内 蔵 モ ー タ	V/kw	三相 200/1.9 (IE3)	
	安全自動化装置		15A ブレーカー	
粉 す り 部	脱 ぶ 方 式		遠心力脱ぶ方式	
	粉ホッパー容量	kg	(粉) 20	
	粉 す り 能 力	kg/時	粉 140~160 (玄米換算 120~130)	
	粉 ガ ラ 処 理		サイクロン (吸引ブロー式、専用袋付属)	
精	精 米 方 式		横型一回通し式	
	ホ ッ パ ー 容 量	kg	(玄米) 10	
米	主 軸 回 転 数	r.p.m	650	
部	能 率	kg/時	(玄米) 120~160	
	糠 処 理		サイクロン (吸引ブロー式、専用糠袋付属)	

※仕様は、予告なく変更する場合があります。

粉すり能率、精米能率および脱ぶ率は、含水率・品質・白度等により異なります。

# 標準付属品

NO.	品名	数量	備考
1	タンク上蓋	1	
2	粉ガラ用サイクロン	1	パッキン付
3	糠用サイクロン	1	
4	サイクロン支持金	2	蝶ボルト M6 × 12 8個
5	糠排出ホース	1	長さ 590mm
6	排塵エルボ	1	
7	排塵ガイドホース	1	長さ 3000mm
8	排塵ガイド縛りひも	2	長さ 800mm
9	蝶型パンチ	1	
10	粉ガラ袋	2	粉ガラ袋 = 糠袋
11	フラ取網	1	
12	三相用プラグ	1	
13	取扱説明書	1	(保証書付)

※ 付属品は、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスセンター

## 1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず、販売店印およびお買い上げ日を確認のうえ、お買い上げの販売店から本書を受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年

## 3. 修理をお申しつけされるときは

《保証期間中》

お問い合わせの際、販売店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づき修理させていただきます。

《保証期間を経過している時》

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

## 4. 補修用部品の供給年限について《製造打ち切り後10年間》

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年と致します。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等について、ご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格について、ご相談させていただきます。

## 5. 点検・処置しても、なお不具合があるときは

下記の点を明確にしてお買い求め先までご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どれくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しく教えてください。

本書記載以外、お客様ご自身での修理、分解や改造は、絶対にしないでください。

# 保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書を持参、ご提出の上、お買い求め先へお申し出ください。無料修理させていただきます。

※型 式 名	MR1902E	修理メモ
※機 体 番 号		
保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1 年	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お 客 様	お名前	
	ご住所	
	お電話 ( )	
※販売店名・住所	( )	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、下記の販売元へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
  - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障及び破損。
  - (ハ) お求め先以外での修理・純正部品以外の使用起因による故障、損傷の場合。
  - (ニ) 機能上影響のない音・振動・外観上の軽微な傷、経時変化による自然退色、発錆などの場合。
  - (ホ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
  - (ヘ) 一般、厨房用以外（たとえば車輻、船舶へのとう載など）に使用された場合の故障及び損傷。
  - (ト) 故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
  - (チ) 故障の発生後30日以内にお買い求め先へお申し出がなかった場合、取り外した不具合部品を紛失された場合。
  - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (ヌ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、下記のお客様窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

## マルマス機械株式会社

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉2番地  
TEL. 076-472-2233 FAX. 076-473-9100